

## 一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

時期	2年D巡	単元	実習	教科名	2D_TS実技	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	日産3/4級整備テキスト		発行日	2026年4月1日
			サーキットテスト			
総時限	22時限		実習ノート		教科 担当	木藤 志津雄
総時間	35.2時間					渡邊 泰史
単位数	1					

**1. 実務経験のある教員による授業科目 該当**

自動車整備士として、車両整備の実務経験がある教員により車両の分解、組立、構造、作動及び自動車の電子制御系の電子制御方法、点検方法等を指導する。

**2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）**

①日産TS3級実技試験に合格する。

**3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）**

- ①日産TS3級実技試験に合格する技術を身に付ける事が出来る。
- ②パワーウィンドウシステムの故障原因探求が出来るようになる。
- ③フロントブレーキの着脱、点検作業が出来るようになる。
- ④コンサルト4 使用時及び未使用時によるエンジンの故障原因探求が出来るようになる。
- ⑤ブレーキの着脱、点検、調整が安全、確実に出来るようになる。
- ⑥お客さま対応(整備結果説明)が出来るようになる。

**4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）**

- 1) 履修試験での学習評価 実技試験 15点、筆記試験 85点にて総合評価する。  
整備科、国際科 60点以上で合格、工学科70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
  1. 実技試験
  2. 筆記試験
    - ①コンサルト4 使用時及び未使用時によるエンジンの故障原因探求。
    - ②フロントディスクブレーキの着脱、点検。
    - ③暗電流測定、パワーウィンドウシステムの故障原因探求。
    - ④整備結果説明。

**5. 準備学習**

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。  
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。

**6. 学修時間と単位**

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。  
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

